滋賀県における在日朝鮮人史

関連するSDGsの国際目標



人間文化学部　国際コミュニケーション学科
准教授　　河　かおる
研究分野：朝鮮近代史、在日朝鮮人史

概要：滋賀県の在日朝鮮人の歴史を調査研究しています。自治体史編纂における当該地域の在日朝鮮人の歴史の執筆や、地方自治体や学校が保有する文書資料の調査研究等の機会がありましたら、ぜひお声がけ下さい。

滋賀県は、同じ関西の大阪、兵庫、京都に比べれば、朝鮮人多住地域は形成されたり、大規模な炭鉱や軍事関連施設の工事に動員されたりした事例が少ないので、それほど注目もされて来ず、他地域に比べて調査研究もあまりなされていませんが、滋賀県でも各地に朝鮮人の足跡が刻まれています。

そうした足跡は、滋賀県に限らず、自治体史等には記録されないことが多いです。以前『東近江市史　能登川の歴史』の執筆に関わらせていただいた際、自治体や学校が保有する資料の中に、在日朝鮮人に関する資料が多数あることを目の当たりにしました。そうした資料を発掘し、多様な地域の歴史を明らかにしていきたいと考えています。



日窒鉱業㈱土倉鉱業所跡（長浜市）

朝鮮人の就労が確認できる主な事業所等（滋賀県）

【凡例】
- 2001年10月の8市41町1村の段階の白地図を利用し、【　】内にもその段階の市町村名を示した。
- 資料で強制連行や徴兵等が確認される事業所等に●印を付けた。
- 証言等で戦時期に朝鮮人労働者がいたことがわかっている事業所等に◎印を付けた（動員形態は不明）。



竹内康人編著『戦時朝鮮人強制労働調査資料集一連行先一覧・全国地図・死亡者名簿　増補改訂版』（神戸学生・青年センター出版部、2015年）を参考に、他の資料にも基づき河が作成した。